



PRESS RELEASE

令和3年12月10日

海上幕僚監部

(お知らせ)

令和3年度インド太平洋・中東方面派遣について

海上自衛隊は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に資するべく、次のとおり令和3年度インド太平洋・中東方面派遣（IMED21：Indo-Pacific and Middle East Deployment 21）を実施します。

1 目的

インド太平洋・中東方面に艦艇を派遣し、これらの地域に所在する各国の海軍等と共同訓練等を実施し、海上自衛隊の戦術技量の向上及びこれらの国の海軍等との連携の強化を図るとともに、本派遣を通じ、地域の平和と安定への寄与並びにこれらの国との相互理解の増進及び信頼関係の強化を図る。

2 期間

令和3年12月12日（日）～令和4年3月31日（木）

3 派遣部隊等

(1) 指揮官

第1掃海隊司令 1等海佐 野口 泰志（のぐち やすし）

(2) 派遣部隊

掃海母艦「うらが」、掃海艦「ひらど」

(3) 派遣人員

約200名

4 寄港予定国（一部調整中）

ブルネイ・ダルサラーム国、バングラデシュ人民共和国、スリランカ民主社会主義共和国、バーレーン王国、マレーシア

5 主要訓練項目

機雷戦訓練等

6 その他

(1) 派遣部隊は、米国主催国際海上訓練(IMX/CE22: International Maritime Exercise / CUTLASS EXPRESS 2022)に参加する予定です。

米国主催国際海上訓練は平成24年から開催されており、今回で7回目となります。海上自衛隊は平成24年の初回から毎回参加しています。

(2) 新型コロナウイルス感染症への必要な対策を行い実施します。